

地域県土警察常任委員会資料

(令和8年7月21日)

〔 件 名 〕

- 令和8年度「鳥取県ちいわか総選挙」の実施結果について
【市町村課】・・・2ページ
- 「伸びのびトーク in 若桜町」の開催結果について
【県民課】・・・3ページ
- 「伸びのびトーク in 岩美町」の開催結果について
【県民課】・・・4ページ
- 美術作品の購入について
【美術館】・・・5ページ
- 「北朝鮮向けラジオ放送『ふるさとの風』『しおかぜ』共同公開収録 in 鳥取」について
【人権・同和対策課】・・・10ページ
- ジャマイカ高校生選手団の県内交流及び布勢スプリント2026出場について
【スポーツ課】・・・11ページ
- 「弥生文化再発見プロジェクト（鳥取×岡山×佐賀）」連携協定の締結について
【とっとり弥生の王国推進課】・・・12ページ
- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【文化政策課】・・・13ページ

地域社会振興部

令和8年度「鳥取県ちいわか総選挙」の実施結果について

令和8年7月21日
市 町 村 課

小・中学校の年代における児童生徒の民主主義の重要性への理解及び将来の政治参加を促進するため、小学校・義務教育学校・特別支援学校小学部6年生、中学校・特別支援学校中学部3年生、義務教育学校9年生を対象とした「鳥取県ちいわか総選挙」を実施しました。ちいわか総選挙は、令和7年度に初めて実施し、今年で2年目の実施となります。

※ちいわか…地域とつながり、地域に愛着を持ち、地域のことを我が事ととらえて、積極的に投票その他政治参加する若者の意

1 鳥取県ちいわか総選挙の趣旨

身近な地域課題等について考え、実際に一票を投じ、その結果が施策等に反映されるという体験を通じ、若者の政治的有効性感覚(自分の行動や意見が政治に影響を与えられるという実感・感覚)を養い、積極的に投票参加・政治参加する主権者としての成長につながる実践的な学びの機会を設けるもの。

2 実施方法及び投票方法

- (1) 県内の小学校6年生、中学校3年生に教材を配布。
- (2) 各学校において、教材を活用し、授業・オンライン投票を行った。
- (3) 投票結果を公表し、最多得票を得たものは実際に鳥取県の施策等に反映する。

3 投票結果

令和8年10月17・18日に鳥取県で開催される「ぼうさいこくたい」を契機として、小学校6年生、中学校3年生の児童生徒を対象に、今年度は「防災」をテーマに実施。

投票テーマ：「ぼうさいこくたい」を契機とした地域の防災力向上について

⇒小学校、中学校ともに、①自助(自分や家族で備える)②共助(地域の人と助け合う・仲良くなる、地域で助け合う力を高める)③公助(社会のしくみや情報を使う)という3つの選択肢の中から、自らが大事だと考える行動を授業の中で話し合い、投票していただいたもの。

※投票結果は小学生、中学生それぞれで集計し、それぞれの結果を公表。

投票期間：令和8年5月11日(月)～6月30日(火)

(1) 小学校6年生の投票結果

投票率 : 69.4%
有権者数 : 4,628人
投票者数 : 3,210人

選択肢	得票率	得票数
自助(自分や家族で備える)	40.1%	1,288票
◎共助(地域の人と助け合う・仲良くなる)	46.5%	1,491票
公助(社会のしくみや情報を使う)	13.4%	431票
合計	100%	3,210票

(2) 中学校3年生の投票結果

投票率 : 57.7%
有権者数 : 4,928人
投票者数 : 2,843人

選択肢	得票率	得票数
◎自助(自分や家族で備える)	42.4%	1,205票
共助(地域で助け合う力を高める)	41.1%	1,168票
公助(社会のしくみを活用する)	16.5%	470票
合計	100%	2,843票

この結果を受け、ぼうさいこくたい会場では、ちいわか総選挙結果の周知と併せて、防災を自分事として考える行動につなげる契機とするため、家族で自助・共助を実践、体験いただけるステージイベントやスタンプラリー、子どもたちが参加できるワークショップ等を実施。また、今後の県の防災事業にも反映させる予定。

4 ちいわか総選挙公開授業の実施

5月28日(木)には、八頭町立郡家西小学校にて公開授業を実施し、「ちいわか総選挙」の教材・プログラムを使用した授業を報道機関等に公開。自助・共助・公助の3つの考え方について、どの考え方を詳しく学び、行動できたらよいか、それぞれの良さ、心配事を比べて意見を出し合い、最後に自分の意見を持って一票を投じた。



5 授業で投票した児童・生徒と教員の感想

- ・一人一人の知識で協力し合うことが大事。自助や公助の意見も取り入れて、防災対策をしっかりとしていきたい。
- ・実際の選挙をイメージして投票を行った。自分たちの考えを持ったり、伝えたりすることで、意欲的に参加できた。将来、投票に行ってみたいという感想もあり、意欲が高まった。
- ・選挙の意義や大切さを考えるきっかけとしてよい学習の機会となったと思う一方、指導時間数の確保については課題を感じる。

「伸びのびトーク in 若桜町」の開催結果について

令和8年7月21日
県民課

県民の皆様（住民・NPO法人・経済団体・地域活性化等に取り組む団体等）と行政関係者等が、その地域が直面する課題などについて意見交換を行う「伸びのびトーク」を若桜町で開催しました。

- 1 日 時 令和8年6月30日（火） 午前10時30分から11時45分まで
- 2 場 所 若桜民芸館（若桜町若桜268番地）
- 3 参加者 まちづくり有志の会・若桜宿にぎわいづくりの会 会長 津崎聖基 氏／会員 山根裕治 氏（12人） まちづくり有志の会 会員 徳田めぐみ 氏、地域おこし協力隊 小濱雄史 氏
上川若桜町長、平井鳥取県知事ほか町・県幹部職員
- 4 意見交換のテーマ 「若桜町の観光・まちづくりについて」
- 5 主な意見等

（まちづくり有志の会）

- ・若桜町を盛り上げるために「にぎわいイベント」や子どもたちが主体となった「お化け屋敷」を開催するなど、様々な地域活性化のためのイベントを継続的に実施している。
- ・子どもたちにはイベントを通じて若桜の魅力を感じてもらい、将来、進学や就職で若桜を離れたとしても若桜で暮らしたいと思ってもらえるような町づくりに繋げていきたいと思っている。
- ・関係人口を増やし、移住や定住に繋がる取組を進めることを目指しており、県や町と協力して頑張っていきたい。

（若桜宿にぎわいづくりの会）

- ・若桜宿内の住民や事業者が協力し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている若桜宿の町並みを活かしながら、地域住民や観光客が親しみ訪れたくなるようなにぎわいの創出を目指している。
- ・「通りが暗い」という住民の意見があり、県の予算を活用して行灯にソーラーパネルを設置して夜間の安全性と歩行環境を改善した。住民サービス向上だけでなく観光地としての魅力向上にもつながった。
- ・若桜宿内の用水路を活かしたユニークなスポットの設置案や、町の民泊・宿泊事業を通じて地域資源を活用する提案など、若桜宿の未来に向けたさまざまなアイデアを議論し、町の歴史や文化を生かした新しい魅力づくりを模索している。

（地域おこし協力隊）

- ・蕎麦屋開業や蕎麦の産地化がミッションだった若桜町の地域おこし協力隊の募集に惹かれて東京から移住した。地域住民から蕎麦打ちを学んだり鳥取市内の蕎麦屋で実地研修を行うなどして、今年4月に蕎麦店と本屋を兼ねた店舗「本とそば鳥の巣」を開業し、順調なスタートを切った。地域おこし協力隊の活動が終わっても、若桜町に定住して仕事ができるような店にしたいという思いで活動している。
- ・若桜駅周辺には観光客が来るが、町の中にまで足を運んでももらえていないので町中を探索してくれる人が増えたらよいと感じている。

〔知事発言〕

- ・様々なポテンシャルがある中で皆さんがアイデアを出し合ってまちづくりを進めておられ、町がバックアップしたり県の事業も活用されていたりしていた。今後、ネットワークを組んで皆さんが思う存分動けるように、私たちもバックグラウンドを整えていかなくてはいけないと思った。
- ・若桜駅前で滞留している観光客に町内を巡っていただくのは、若桜町の観光のテーマの中で一番大切なポイントだと思う。県も町と一緒に実現に向けてサポートしていく。

〔町長発言〕

- ・地元の町民や事業者の方がアイデアを出しながら「観光まちづくり」を自ら実践していただいております本当に心強い。町も応援していきたいと思う。
- ・「ふるさと住民登録制度」も始まるが、そういう外の人との協力で町が賑やかになる展開も出てくると期待しており、今後とも皆さんと一緒に町を盛り上げていきたい。



「伸びのびトーク in 岩美町」の開催結果について

令和 8 年 7 月 2 1 日
県 民 課

県民の皆様（住民・NPO法人・経済団体・地域活性化等に取り組む団体等）と行政関係者等が、その地域が直面する課題などについて意見交換を行う「伸びのびトーク」を岩美町で開催しました。

- 1 日 時 令和 8 年 7 月 8 日（水） 午後 1 時から 2 時まで
- 2 場 所 岩美町役場 大会議室（岩美町浦富 675-1）
- 3 参加者 田後地区自治会 副会長 加藤真二 氏、岩美町集落活性化推進員 山田 南 氏
(21 人) 岩美高校探究グループ「T A J I R I（たじり）倶楽部」奥田菜桜さん、田中怜奈さん
徳田日向さん、山根慶悟さん、川瀬彩郁さん、河本心愛さん、小谷優菜さん、田村 渚さん
藤田小春さん、邨田 蒼さん、高村旭一さん、山根暖生さん
長戸岩美町長、平井鳥取県知事ほか町・県幹部職員
- 4 意見交換のテーマ 「地域活性化の取組について（田後地区）」
- 5 主な意見等

（田後地区自治会）

- ・田後は水産業主体の集落で、主に沖合底びき網漁で松葉がにやモサエビなどを中心に漁獲している。毎年 11 月に田後港大漁感謝祭を開催し、県内外から松葉がに等の海産物を求め観光客が多く来訪する。
- ・近年はアニメ『F r e e !』のロケ地として注目され、県内外からの若者の来訪も多く、昨年開催の公式イベントは非常な賑わいとなった。魅力的な地域資源もあるが、人口減少、高齢化による担い手の減少が著しく、活動を持続させていくための集落出身者、移住者など含めた人材の確保が課題。

（岩美町集落活性化推進員）

- ・令和 6 年 4 月から田後コミュニティセンターを拠点に地区自治会や公民館事業に携わる中で、住民や地区の状況を勉強しながら田後地区の課題等を把握し、解決に向けた活動や地域の賑わいづくりの様々なイベントの立案・実施している。
- ・去年は県の補助事業を活用して、「田後港イルミネーション事業」を実施。11 月～1 月に地区全体を見渡せる田後公園の東屋をイルミネーションで装飾した。
- ・令和 5 年度に地区住民を対象に行ったアンケートに基づき 10 年後の地区のあるべき姿を描いた田後地区賑わいプランを作成中。活動の継続や企画・立案、実施主体などを含めた役割分担も検討している。

（岩美高校 T A J I R I 倶楽部）

- ・3 年生の総合的な探究の授業「岩美高校探究学習」で、私達の探究グループ「T A J I R I 倶楽部」は、田後地区を活性化するために何ができるか探究している。
- ・去年の 3 年生も T A J I R I 倶楽部として探究活動を行っていて、田後地区の探究は今年が 2 年目。地域サポーターの集落支援員、元地域おこし協力隊員、地元の方の助言を頂きながら学習を行っている。
- ・今年のメンバーは 12 名で探究テーマを「田後に来る」として、イベントの企画やフリーペーパーの作成などに取り組んだ。

【知事発言】

- ・T A J I R I 倶楽部の取組について、フリーペーパー「たじりん」に田後港の波の音を QR コードで入れ込むことは、何気ない日常の音で田後の魅力を伝える素晴らしい発想と思った。今年度の後半から 2 年生に活動を引き継がれるということだが、伝統としては是非続けていただきたい。
- ・田後神社の春祭りは、最後に船と神輿が出てくるなど大変勇壮なもの。若い後継者がなければ続かないが、大漁感謝祭での来町者の内訳を見ても、岩美はまだまだ定住者を増やせる可能性があると感じた。
- ・集落活性化推進員という新しい立場で、にぎわいづくりプランの最終的な取りまとめをされており、是非現場の意見を入れていただき、皆で課題を解決していくようなモデルを作ってもらいたい。

【町長発言】

- ・住民主体の取り組みを広げながら、少しずつ地域の元気を取り戻していくよう町としても取り組むので、県も町と一緒に地域の活性化に向けて尽力してほしい。



美術作品の購入について
(美術資料収集評価委員会の結果等)

令和 8 年 7 月 2 1 日
美 術 館

美術作品の収集の可否について、令和 8 年度第 1 回收集評価委員会を開催し、いただいた意見をもとに、価格等について精査を行った上で、2 のとおり購入候補作品を決定しましたので報告します。

1 第 1 回鳥取県美術資料収集評価委員会

- (1) 開催日時 5 月 2 5 日 (月) 1 0 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
(2) 会 場 鳥取県立美術館 1F 会議室・2F 収蔵庫
(3) 出席委員

氏 名	勤務先役職名等	専門分野
水沢 勉	元・神奈川県立近代美術館 館長	西洋美術・彫刻
國賀 由美子	元・大谷大学 文学部歴史学科 教授	近世・近代日本画
速水 豊	三重県立美術館 館長	近現代美術
不動 美里	和歌山県立近代美術館 館長	工芸・デザイン・現代美術
橋本 慎司	栃木県立美術館 学芸課長	中世・近世絵画
三井 圭司	東京都写真美術館 事業企画課事業第二係長	写真

2 購入候補作品

- (1) 一般会計予算分 ※別紙 参照

NO	分野	収集方針による位置づけと候補作家／ →は、委員会でのコメント	購入予定価格 (千円・税込)
1	現代美術	2 ③戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品 オノ・ヨーコ コンセプチュアル・アートの先駆者であり、日本人を代表する現代美術作家のひとり。66 年にジョン・レノンと結婚。 《Fly Piece》 →本作のコンセプトは、作家の中ではメインの一つに位置付けられるもので、価格も妥当。ぜひ収集すべき。	46, 200
2	彫刻	2 ③戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品 舟越 桂(ふなこし・かつら) 大理石の玉眼を使った性別を感じさせない静謐な半身像を多く制作。日本の現代木彫分野を代表する作家。 《冬の本》 →作家自身が亡くなるまで手元で保管していた作品。来館者の想像を掻き立てる展示が可能な点でも面白い。価格も妥当。ぜひ収集すべき。	46, 200
3	現代美術	3 ①過去 20 年間でめざましい活動を行った作家の作品 バンクシー ストリート・アーティストとして世界各地に作品を展開。2018 年にオークション会場に出品された自身の作品がシュレッダーで裁断される事件を引き起こしたことで有名。 →バンクシーの活動は美術史にも残るものであり、その作品の収集自体に異議はない。美術館が収集するに相応しい作品について引き続き情報収集・調査を行うべき。	継続調査中

- (2) 美術品取得基金分 ※別紙 参照

NO	分野	収集方針による位置づけと候補作家／ →は、委員会でのコメント	購入予定価格 (千円・税込)
4	現代美術	2 ③戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品 ロバート・ラウシェンバーグ 1925 年テキサス州生まれ。抽象表現主義的絵画で高く評価され、60 年代以降を中心に流行したポップ・アートを率いた美術家の一人。 《数ある兆し》 →60 年代を圧縮した視覚アーカイブ要素が強い良作であり、価格も妥当、ぜひ収集すべき。	15, 147
5・6	近世絵画	1 ①鳥取県に関係した近世以前の美術作品 土方稻嶺(ひじかた・とうれい) 鳥取藩絵師。鳥取画壇の祖とも言われ、江戸時代の鳥取の画家の中で画力・全国的な知名度ともに最も高い画家。 《金鶏図》／《太公望・鯉図》 →ぜひとも収集すべき作品で、価格も妥当。	●《金鶏図》 1, 100 ●《太公望・鯉図》 4, 400

7		1 ①鳥取県に関係した近世以前の美術作品 沖 探容(おき・たんよう) 江戸詰の鳥取藩絵師・沖家六代目。伝統的な狩野派の画風に大和絵の要素を取り入れた温雅で叙情的な作風。 《山水独釣図》 →作品は良いもので、価格も妥当。	1, 100
8 ・ 9		1 ①鳥取県に関係した近世以前の美術作品 沖 一峨(おき・いちが) 江戸詰の鳥取藩絵師・沖家七代目。江戸で画家として名を馳せ、狩野派をベースに琳派や南蘋派、円山四条派などあらゆる画風を摂取し、多様な画風を展開。 《三顧図》／《四季花鳥虫獣図》 →いずれも作品は出来が良く、価格も妥当。ぜひ収集すべき。	●《三顧図》 2, 200 ●《四季花鳥虫獣図》 5, 900
1 0		1 ①鳥取県に関係した近世以前の美術作品 根本幽峨(ねもと・ゆうが) 商家に生まれ、沖一峨のもとで修業。鳥取藩絵師となる。画域は師と同じく幅広く、狩野派的な山水図・人物図から略画風の草画まであらゆる画風を示す。 《二十四孝図貼交屏風》 →貴重なもので、価格も妥当。ぜひ収集すべき。	8, 000
1 1 } 1 3	近代日本画	1 ②鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品 小早川秋聲(こばやかわ・しゅうせい) 実家は日野町黒坂・光徳寺。中国・ヨーロッパ各地を訪れ、東西美術の研究のもと内省的な作品で高い評価を受ける。戦中は従軍画家として知られた。 《絶目尽吾郷(成吉思汗)》／《未練と嫉妬》／《世界の月シリーズ(9点)》 →作品はいずれもよく、価格も妥当であり、ぜひ収集すべき。	●《絶目尽吾郷》 5, 800 ●《未練と嫉妬》 1, 200 ●《世界の月シリーズ》 4, 950
1 4 } 1 7	現代美術	2 ③戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品 松澤 宥(まつざわ・ゆたか) 1922年長野県下諏訪郡生まれ。日本におけるコンセプチュアル・アートの草分けとして、文字を用いた「観念美術」をはじめ世界から高い評価を受ける。 《極北で》／《海底(白)》／《海底(赤)》／《あなたの余命(卵)》 →いずれも非常に価値あるもので、価格も妥当であり、ぜひ収集すべき。	●《極北で》 330 ●《海底(白)》 330 ●《海底(赤)》 330 ●《あなたの余命(卵)》 330
1 8	現代絵画	3 ①過去 20 年間でめざましい活動を行った作家の作品 丸山直文(まるやま・なおふみ) 1964年長岡市に生まれ。ステイニングという技法を用い、有機的形態をモチーフとした大画面抽象画で高く評価される。 《題名不詳》 →代表的な作品で、価格も妥当。ぜひ収集すべき。	3, 850

※上の表中の 2 ③、3 ①等は、コレクション収集方針の分類番号(下記)に対応。

【鳥取県立美術館のコレクション収集方針】

1 鳥取県の美術
①鳥取県に関係した近世以前の美術作品
②鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品
③鳥取県にゆかりのある現代作家の美術作品
④鳥取県の自然や風物などを題材にした美術作品
⑤郷土作家とつながりをもつ国内外の作家の優れた美術作品
2 国内外の優れた美術
①江戸絵画の多様性を示す優れた作品
②近代(明治～戦前)における各分野の参照点となる優れた作品
③戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品
④館の内外に半恒久的に設置する作品
3 同時代の美術の動向を示す作品
①過去 20 年間でめざましい活動を行った作家の作品
②当館の企画展およびスタジオ・プログラムに参加した作家の作品
③国内外の公立美術館での発表または重要な展覧会に参加した作家の作品

令和8年度購入候補作品画像

NO.1【現代美術】オノ・ヨーコ



《Fly Piece》1963/1998 年

NO.2【現代美術】船越 桂



《冬の本》1988 年

NO.3【現代美術】バンクシー

検討中

NO.4【現代美術】ロバート・ラウシェンバーグ



《数ある兆し》1970 年

NO.5,6【近世絵画】土方 稲嶺



《金鶏図》1798 年（寛政 10）



《太公望・鯉図》1802 年（享和 2）

NO. 7 【近世絵画】 沖 探容



《山水独釣図》江戸後期

NO. 8, 9 【近世絵画】 沖 一峨



《三顧図》江戸後期



《四季花鳥虫獣図》江戸後期

NO. 10 【近世絵画】 根本 幽峨



《二十四孝図貼交屏風》1857 年（安政 4 年）以前

NO. 11~13 【近代日本画】 小早川 秋聲



《絶目尽吾郷(成吉思汗)》1932 年(昭和 7 年)



《未練と嫉妬》大正-昭和初期



《世界の月シリーズ》大正期-昭和初期

NO. 14～17 【現代美術】 松澤 宥



《極北で》製作年不詳



《海底（白）》1984年



《海底（赤）》1984年



《あなたの余命（卵）》1986年

NO. 18 【現代美術】 丸山 直文



《題名不詳》1990年

「北朝鮮向けラジオ放送『ふるさとの風』『しおかぜ』共同公開収録 in 鳥取」について

令和8年7月21日

人権・同和対策課

外部の情報が入りにくい北朝鮮にいる拉致被害者に向けて、情報や日本からの「声」を届けている北朝鮮向け短波ラジオ放送番組の『ふるさとの風』（運営：内閣官房拉致問題対策本部）及び『しおかぜ』（運営：特定失踪者問題調査会）の共同公開収録が鳥取市で開催されました。公開収録が鳥取県内で開催されるのは今回が初めてで、収録されたメッセージ等は、編集の上、7月下旬以降に北朝鮮に向けて放送されます。

1 「北朝鮮向けラジオ放送『ふるさとの風』『しおかぜ』共同公開収録 in 鳥取」概要

- (1) 日 時 令和8年7月12日（日）午後2時から4時まで
- (2) 場 所 鳥取県立生涯学習センター「県民ふれあい会館」ホール
- (3) 主 催 内閣官房拉致問題対策本部、特定失踪者問題調査会
- (4) 後 援 鳥取県、鳥取市
- (5) 主な内容



①動画上映「あなたの知らない拉致問題」（制作：特定失踪者問題調査会）

②公開メッセージ収録（知事、鳥取市長、拉致被害者御家族等）

○平井鳥取県知事（公開収録に都道府県知事が現地参加するのは全国初）

平成19年に知事に就任後まず行ったのは、帰国時に備えた予算措置、受入体制の整備で、それは今も続けています。昨年12月には条例（拉致問題等の早期解決を目指す取組の推進に関する条例）が制定され、北朝鮮にいる方々を取り戻せるように皆で協力する、それが私たち県の誓いとなっています。お帰りをお待ちしております。体に気を付けてがんばってください。

○深澤鳥取市長（ビデオメッセージ）

私自身、市長として条例の精神を深く胸に刻み、被害者全員の帰国が実現するまで、自治体としての使命を果たす所存であります。鳥取市は市民の皆さんとともに、この問題を「我が事」として考え続ける啓発活動に力を注いでまいります。すべての拉致被害者が御家族の待つこの日本へ帰れるその日まで、ともに頑張っていきましょう。

○拉致被害者御家族等

松本 孟(まつもと はじめ)さん（松本京子さん兄）

よくけんかでしたが、兄妹仲は良かった。とにかく体に気を付けて、元気でいてほしい。姿を見せてほしい。

福本 成子(ふくもと なりこ)さん（松本京子さん友人）（メッセージを司会が代読）

京子のお母さんが平成24年に亡くなられるまで、いつも二人で京子の話をしていました。帰ってきたら、京子のお母さんの話をいっぱいしてあげたい。必ず故郷に帰れるその日を待っていますから、それまで京子も頑張ってください。

③拉致被害者救出を願う共同ライブコンサート

アンサンブルLeaf（地元吹奏楽団）／山陰少年少女合唱団リトルフェニックス（地元合唱団）

シンガーソングライター：YAMATO（やまと）／演歌歌手：宇佐美由美子（うさみゆみこ）

④唱歌「ふるさと」の合唱（会場・出演者全員）

2 「ふるさとの風」、「しおかぜ」概要

(1) ふるさとの風

日本政府（内閣官房拉致問題対策本部）により平成19年7月に放送を開始し、日本や北朝鮮をめぐる状況、拉致問題についての日本政府の取組やニュース、拉致被害者の御家族からのメッセージ、懐かしい日本の歌などを放送している。

(2) しおかぜ

特定失踪者問題調査会により平成17年10月に放送を開始し、政府認定拉致被害者や拉致の可能性を排除できない特定失踪者への呼びかけ、北朝鮮関連のニュースなどを放送している。

ジャマイカ高校生選手団の県内交流及び布勢スプリント 2026 出場について

令和8年7月21日
スポーツ課

ジャマイカ高校生選手団が「布勢スプリント2026」(7/5開催) 出場にあわせて来県(7/1~7/6)するとともに、県内高校生等と交流し、スポーツを通じた鳥取とジャマイカとの友好関係及び相互理解を深めました。

1 来県者(5名) ※敬称略

ジャマイカ陸上競技連盟

- ・会長 ガース・ゲイル
 - ・財務担当理事 ラドロー・ワッツ
 - ・ジュニアコーチ デビッド・ライリー
 - ・男子高校生選手 リケルミ・リード(チャンプス2026 16~19歳の部 1位)
 - ・女子高校生選手 ナトリース・イースト(チャンプス2026 15~16歳の部 1位)
- ※チャンプス…毎年3月に開催されるジャマイカ全国高校陸上選手権。世界最高峰の高校陸上大会。

2 交流事業等

(1) 鳥取市長面談(7/2(木)・鳥取市役所)

ゲイル会長から、2025 東京世界陸上事前キャンプ受入れへの感謝を伝えるとともに、来年開催される2027 北京世界陸上に向けて鳥取県、鳥取市での事前キャンプを検討している旨コメント。

(2) 県立鳥取商業高等学校文化祭への参加(7/2(木)・とりぎん文化会館 梨花ホール)

「有志演技」ステージに出演して、鳥取県とジャマイカに関するクイズ、記念品交換などを実施し、会場の高校生からは、クイズを通してジャマイカの文化や観光名所を知ることができて楽しかったなどの声があった。



(3) デビッド・ライリーコーチ陸上教室(7/2(木)・ヤマタスポーツパーク陸上競技場)

県内東部地区の高校陸上部員を対象に、短距離種目の重要な要素である「スタート」に重点を置いた指導をされ、高校生からは、地面を蹴る重要性を再認識したなどの声があったとともに、個別の質問コーナーでは長蛇の列ができた。(参加校…鳥取東、鳥取西、鳥取城北、鳥取敬愛の陸上部員約35名が参加)



(4) 書道体験及び英語の授業への参加(7/3(金)・県立鳥取商業高等学校)

書道を通じて日本の伝統文化や精神文化を体験するとともに、カタカナで自分の名前書きに挑戦した。英語授業では、お互いの国や地域、自校の紹介を英語で自由にプレゼン・ディスカッションしたり、生徒に折り方を教わりながら新聞紙で兜(サムライヘルメット)を作るなど、終始和やかな交流となった。



(5) 鳥取陸上競技協会浜崎会長及び平井知事との面談(7/5(日)・ヤマタスポーツパーク陸上競技場)

浜崎会長、平井知事、ゲイル会長、ワッツ理事が面談され、2027 北京世界陸上での事前キャンプに向け、意見交換された。



3 布勢スプリント2026への出場

- ・リケルミ・リード選手(男子 GP100m)
<予選>10秒97(予選6組8位)
※予選敗退(コンディション不良)
- ・ナトリース・イースト選手(女子 GP100m)
<予選>11秒70(予選2組1位)
<A決勝>11秒53(2位)
※日本記録:11秒21



リケルミ選手



ナトリース選手



「弥生文化再発見プロジェクト（鳥取×岡山×佐賀）」連携協定の締結について

令和8年7月21日
とっとり弥生の王国推進課

鳥取県での全国知事会議開催にあわせ、青谷かみじち史跡公園を会場に、鳥取、岡山、佐賀の3県知事による弥生文化の調査研究及び情報発信に関する連携協定の式典を開催しましたので、その概要を報告します。

1 式典概要

日 時：令和8年7月15日（水）午後5時5分から5時30分まで

場 所：青谷かみじち史跡公園 ガイダンス棟 体験学習室（鳥取市青谷町吉川17）

内 容：協定書署名、記念撮影、各県知事による弥生文化に係る取組等の紹介

出席者：平井鳥取県知事、伊原木岡山県知事、山口佐賀県知事

※ 式典当日、青谷かみじち史跡公園は、全国知事会 in とっとりプレイベント（視察東部コース）の立ち寄り先として、12県の知事等約60名に視察いただきました。

2 協定締結のねらい

著名な弥生時代遺跡を有し、県が主体的となって整備・公開している鳥取、岡山、佐賀の3県が連携し、弥生時代の歴史・文化について共同で調査研究を行い各県の地域性や多様性を明らかにするとともに、弥生時代研究をリードしていくことを目指して、その重要性及び学術的価値を国内及び世界に発信する。

＜各県が整備・公開する弥生時代遺跡＞ ※（ ）内は所在地、年次は、国（特別）史跡の指定年

鳥取県：青谷上寺地遺跡（鳥取市青谷町）平成20年国史跡

妻木晩田遺跡（米子市・西伯郡大山町）平成11年国史跡

岡山県：津島遺跡（岡山市北区）昭和46年国史跡

佐賀県：吉野ヶ里遺跡（神埼郡吉野ヶ里町・神崎市）平成3年国特別史跡

3 協定における連携・協力事項

- （1）弥生文化解明のための共通テーマ（弥生の墓制、祭祀等）による調査研究
- （2）シンポジウム、共通テーマによる連続講座及び講演会・セミナーの企画・開催
- （3）各展示施設等における展覧会の企画・開催及び展示資料の貸借
- （4）各域内の施設及び考古学関連イベントでの3県の遺跡紹介
- （5）その他、3県のいずれかの要請に応じ、3県で連携し、又は協力することが必要と認められる事項

4 各知事のコメント

（1）平井鳥取県知事

「弥生時代の遺跡に国内外から注目が集まるようにノウハウや知見を共有し、今までの教科書で習ったものとは違う、まだまだ分からないことがある弥生時代を盛り上げていきたい。」

（2）伊原木岡山県知事

「弥生時代前期の稲作が発達し人口も多い先進的な遺跡であった津島遺跡から古墳時代・古代まで長いスパンのストーリーを紡いでいくことで、県民の誇りに繋げていきたい。」

（3）山口佐賀県知事

「一緒になって共同で解明することによって、弥生時代というものが明らかにされていくことにとても意義があり、未来に向けてもこれから楽しみで非常にワクワク感を感じている。」



3県連携協定式 記念撮影の様子



全国知事会プレイベント 施設見学の様子

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】		地域社会振興部					
主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	摘 要
文化政策課 〔東部建築住宅事務所〕	わらべ館外壁改修ほか工事 (一期)	鳥取市 西町 三丁目	株式会社藤原組 取締役社長 藤原 正	183,040,000円 (予定価格) 199,650,000円	令和8年6月24日 ～ 令和9年5月6日	令和8年6月24日	制限付 一般競争入札 (4社)